

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11  
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071  
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和  
編集人 高山 浩

2014年  
12月1日  
第355号

# JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

## 安倍政権の暴走を許さず、労働組合らしく闘おう！ 2014年度組合員セミナー開催



J R 東 海 労 は 11 月 16 日、熱海市のホテルで 2014 年度組合員セミナーを開催しました。セミナーには 65 名の組合員が参加しました。

主催者を代表し、淵上委員長は「松崎さんがつづけてきた労働運動の質を継承するために、職場からの闘いを積み重ねよう。解散総選挙は戦争の条改悪のために画策されている。戦争に反対している J R 総連への弾圧も進められている。断固跳ね返していこう」と訴えました。

講演は、初日に J R 総連榎本書記長より「J R 総連の当面する課題」について、2 日目にジャーナリスト・斉藤貴男さんより「安倍政権の暴走と原発・リニア」について、それぞれ受けました。

榎本書記長は「安倍首相は解散して 4 年間で『安倍のやりたい国づく(戦後レジームからの脱却、新自由主義)』を全てやり切る狙いがあるのではないのか。2 年では無理、だから 4 年間で判断したのではないのか。」



か。底辺にいる人たちがさらに苦しむのを承知でやる。安倍首相が国会で『J R 総連＝殺人集団』と発言した。相談して対応していきたい。J R 総連は権力から弾圧されている。こういう時代に突入している」と、権力からの弾圧に対して闘うことを明らかにしました。

斉藤貴男さんは「アベノミクスの国策としてインフラシステム輸出を計画している。外需で食っていくという戦略である。原発とリニアはセツ



トで、国内で原発もリニアも必要なくとも、国のメンツのためにつくらなければならぬ。輸出のため『シヨールーム』である」と、リニアと原発を推進する権力者の本質を分かりやすく説明しました。

各地方からは、新幹線地本山口組織部長から「ボーンカスカット攻撃粉砕労働審判の闘い」、静岡地本山本委員長から「静岡地本の秋の闘い」、名古屋地本吉田組織部長から「労働審判で勝ち取るもの」、新幹線関西地本畑野書記長から「秋の闘いについて」と題した報告がされました。

全体討論では、積極的発言が相次ぎ、議論が盛り上がりました。最後に、木下副委員長の団結ガンバリでセミナーは成功裡に終了しました。

**年** 年末の忙しい時期を迎えようとしている。11月21日、安倍首相は任期2年を残し衆議院を解散した。この解散には大義名分はなく、多くの批判が相次いでいる。▼相次ぐ閣僚のスクランダル、消費税増税の判断となる経済成長率のマイナス数値。タイムミスの追及を避け、改憲や集団的自衛権などの問題を経済問題にすり替えるチャンスである。そして、年末の忙しい時の低投票率を狙えば、安定した組織票が自民党に入る計算だろう。▼安倍政権はこの間、集団的自衛権の閣議決定をはじめ特定秘密保護法、国家安全保障会議などを矢継ぎ早に強行していった。軍事政策はさらに続くであろう。しかし、国民も馬鹿ではないから、2年を待たなくとも気が付くであろう。その時期になれば、自民党にNOを突きつけるであろう。▼さらにいえば、完全なる軍事国家にするためには2年では足りず、4年の歳月をかけるシナリオがつけられている。▼選挙日程が12月2日公示、12月14日投票と決まった以上、「戦争のできる国」づくりをさせないために、安倍政権の欺瞞性を広め、憲法9条を守る候補者を国政に送らなければならない。

# 特集

## 地域の住環境より企業利益優先の姿勢 鳥飼基地井戸掘削問題で露呈したエゴ

現在、大阪鳥飼基地で井戸掘削をめぐる、JR東海と大阪府・摂津市との間で問題が発生しています。

鳥飼基地の大部分は摂津市で、一部分が茨木市です。過去、地下水のくみ上げで地盤沈下が起き、1977年『環境保全協定書』(地下水のくみ上げの中止)を国鉄と摂津市が交わし、1999年にJR東海と更新を行っていました。しかし、JR東海は今年、JR東海が地下水のくみ上げを明らかにしました。JR東海は、茨木市の部分からの掘削としています。

これに対し、JR東海は「今回の計画は基地のうち茨木市の部分で、協定には反しない。また、計画している水の量をくみ上げて地盤沈下のおそれはない」と回答しました。そして、工事を強行したのです。

鳥飼基地の近隣のある宅地は、1964年の新幹線開業より地下水取水により約10年間で自宅周辺が-47.89cm「地盤沈

下、その後も沈下が約10cm拡大し-57.3cmも地盤沈下しているのです。摂津市は、11月10日の臨時市議会において、JR東海を相手取り「環境保全協定上の地位確認及び井戸掘削差止等」を求めて提訴することを全会派・全議員一致で可決し、11月14日に大阪地方裁判所に提訴しました。

本部は10月22日、井戸掘削の中止を求め「鳥飼車両基地における井戸掘削に関する申し入れ」(「申第14号」)を会社に提出しました。会社は11月7日、「付議事項に該当しないので労使協議は開催しない。基本的には地方の問題である。直ちに中止することについては、そのような考えはない。地方で聞いてもらいたい」と、労使協議の開催を拒否しました。

日関西支社は労使協議の開催を拒否しました。その後11月12日にも、「鳥飼基地の井戸掘削」について申し入れを行いました。また、新幹線関西地本は10月20日、摂津市長宛に支援を表明する『要望書』を提出しました。

JR東海は、リニア中央新幹線南アルプストンネル掘削で毎秒2.2の出水を発表していますが、この異常出水に対して静岡市との『環境保全協定書』締結を拒否しています。この共通する傲慢な姿勢は、決して許されるものではありません。

11月11、12日、静岡県熱海市網代でJR東海労第23回バレーボール大会、第23回テニス大会を同時開催しました。両大会にはJR東労組、JR西労、JR貨物労組、ホテル聚楽労組の組合員・家族・OBなど90名が参加しました。

成績結果	
バレーボール大会	
優勝	JR東労組高崎地本
準優勝	JR東労組大船連合
テニス大会	
優勝	柿島夫妻(新幹線地本OB)
準優勝	渡辺・高山(静岡地本)



上空からの写真  
黄色枠が鳥飼基地、青色部分が茨木市  
鳥飼基地の大部分が摂津市にある

### 田城議員 便り



11月21日、衆議院が解散されました。12月14日が投票日です。安倍総理は、当初「消費増税先送り」という税制の大きな変更をするので、国民の信を問う」という大義を掲げました。全ての野党と多くの国民がその選択に異論を挟んでいないのにも関わらず、国会を解散することに批判が集中すると、今度は「アベノミ

クスは成功しつつある。もう少しで多くの国民が成果を実感できる。アベノミクスを続けるか、やめるか。国民に信を問う」と、大義をすり替えました。これだけでも、大義が明確でなかったことが解ります。

何故この時期に、700億円もの巨費を投じて総選挙をするのか理解できません。今回の消費増税先送りは、国民の負担増を考慮しての決断ではありません。先送りした後「景気条項」は撤廃するといふのですから、安倍政権が勝利すれば、経済状況に関係なく2017年4月からの消費税

率10%を現時点で決めてしまうという支離滅裂さです。しかも、安倍政権は、自公で衆議院480議席の内、326議席を占めています。アベノミクスが成果を上げていけるならば、堂々と推し進めることもできます。なぜ、今、解散なのか？集団的自衛権行使容認の閣議決定の時には、正に憲法に関わる大転換であるにも関わらず、国民に信を問わなかったのか？。疑問は深まるばかりです。

11月16日の沖繩県知事選挙で示された辺野古新基地建設反対の民意に背を向け、相次ぐ閣僚の疑惑の影響をリセットし、アベノミクスの失敗を覆い隠すための解散です。野党の準備不足につけ込んで解散し、自民党の議席減を小さくすれば、「信任を受けた」とし、消費増税も沖縄基地問題も



安倍政権による「世界で一番企業が活動しやすい国づくり」「戦争できる国づくり」にストップをかける絶好の機会です。争点隠しを許してはなりません。

ここは是非、組合組織の推薦する全候補者の当選を期して闘いを貫徹しよう！